



試合終了後、子どもたちと記念撮影する幸村ケン（左）らレスラー4人
八代市の植柳小

本物の感動、痛み感じて

NPO 一足早く旗揚げ

八代市

バーチャルではなく本物の感動や痛みを五感で感じてー。八代市のプロレス団体「求道軍」の幸村ケンシロウさん(45)らが、「教育のためのプロレス」を掲げて設立するNPO法人が21日、一足早い旗揚げ「講演」を、同市の植柳小体育館で開いた。

「教育のためのプロレス」

幸村さんは昨年7月、プロレスの試合を子どもたちに見せることで、教育的な効果を持たせるイベント(講演)を始めた。この試みに賛同した熊本市の企業人と一緒に、講演の資金面などを支援するNPO法人を3月に設立することになった。

この日は、植柳小の児童や保護者ら約200人が観戦する中、幸村さんらレスラー4人がタックル戦を披露。迫力ある技を繰り出しながら、軽妙な会話を交わした。

試合を食い入るように見守っていた子どもたちは「本物はすごい」「ゲームと違い、とても痛そう」などと感想を語っていた。



住民ら
=球磨村

3月末で83年の歴史に幕を下ろす天草市佐伊津町の佐伊津中(平井健三郎校長、1114人)で21日、閉校式があり、生徒や卒業生ら約300人が思い出の

式では、平井校長が卒業生が築き上げてきた校風を伝承に努め、今後直前まで多くの試験を乗り越えてほしいとあいさつ、生徒会長の松本

心に歩む 遠に



陽気に

話している。問い合わせは同法人093(212)3313。(野田一登) 子ども

スポーツ 気軽に 気軽に 化活動に 水上村の クラブの ラブの